

平成23年度 青森県聴覚障害者情報センターの管理運営状況

県所管課	健康福祉部障害福祉課
指定管理者	社団法人 青森県ろうあ協会 会長 谷崎 利巳
指定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概要
聴覚障害者用の録画物の製作及び聴覚障害者の利用に供する業務	情報番組の自主製作、CS障害者統一放送機構「目で聴くテレビ」の番組製作及び字幕入りビデオ等の貸出し・閲覧に供した。
手話通訳者、要約筆記者等の養成を行う業務	国のカリキュラムに沿って、手話通訳者、要約筆記者等を養成するための講習会を開催した。
聴覚障害者に対する各種の相談、指導訓練、情報提供等を行う業務	聴覚障害者の生活・職業等各種相談を行うほか、手話講習会等の指導訓練、情報機器の貸出し・施設の開放により情報提供を行った。
施設及び設備等の維持管理に関する業務	法令等に則り、日々又は定期的に清掃及び各種設備の保守管理を行い、適切に施設及び設備等の維持管理を行った。

2 管理施設の利用状況

利用指標	年度	計画	実績	計画対比	前年度対比
利用人数 (人)	H20	4,500	5,338	118.6%	90.4%
	H21	4,500	6,317	140.4%	118.3%
	H22	5,000	6,373	127.5%	100.9%
	H23	5,000	6,140	122.8%	96.3%
字幕入りビデオテープ貸出数 (件)	H20	770	385	50.0%	63.7%
	H21	360	386	107.2%	100.3%
	H22	400	159	39.8%	41.2%
	H23	420	205	48.8%	128.9%
手話通訳者養成講座の受講者数 (人)	H20	基礎課程 20	基礎課程 23	115.0%	164.3%
	H21	基本課程 10 応用課程 5	基本課程 14 応用課程 8	140.0% 160.0%	60.9% —
	H22	基本課程 10 応用課程 5	基本課程 15 応用課程 2	150.0% 40.0%	107.1% 25.0%
	H23	基本課程 5 応用課程 5 実践課程 5	基本課程 16 応用課程 6 実践課程 9	320.0% 120.0% —	106.6% 300.0% —
要約筆記者養成講座の受講者数 (人)	H20	基礎課程 20	基礎課程 6	30.0%	14.0%
	H21	基礎課程 10 応用課程 5	基礎課程 5 応用課程 3	50.0% 60.0%	83.3% —
	H22	基礎課程 10 応用課程 5	基礎課程 10 応用課程 4	100.0% 80.0%	200.0% 133.3%
	H23	基礎課程 10 応用課程 5	基礎課程 4 応用課程 10	40.0% 200.0%	40.0% 250.0%

【増減理由】

- ・利用人数：きめ細やかな対応の結果、施設見学依頼が増えてきている。
- ・字幕ビデオ貸出数：関係機関・団体へパンフレットを配布したが、地上デジタル放送において聴覚障害者に配慮した番組（字幕放送）が増えていること及び、DVDの普及によるビデオデッキの普及率低下により、目標を大幅に下回った。
- ・手話通訳者養成講座：基本課程を2会場で開催し、受講の機会を増やしたことから、修了者数は概ね昨年度と同程度。平成23年度は新たに『実践課程』講座を開設した。
- ・要約筆記者養成講座：全市町村へ周知協力を依頼する等周知に努めた結果、基礎課程では目標値を下回ったが、応用課程では目標値を上回った。

3 評価結果

評価項目	指定管理者自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	A	A	利用者アンケートで高い評価を得ており、適正に実施しているものと認められる。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	B	B	利用者アンケートで高い評価を得られ、利用人数も多くなってきている。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	A	A	アンケートにおいて施設の清潔さ等を評価されており、優れた実績をあげたものと認められる。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	B	B	テレビ電話を活用した情報収集体制を設ける等、適正に取り組んでいる。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	A	A	経理状況等に問題はなく、適正に執行している。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか	B	B	きめ細やかな対応や、講習会の実施地域を広げる等、適正に取り組んでいる。
⑦個人情報の保護に対する体制の構築・取組みを行っているか	A	A	基本協定書の「個人情報取扱特記事項」を遵守し、適正に取り組んでいる。
総合評価	A	A	センターにおける各種事業の実施及び施設の維持管理について、適正に取り組んでおり、利用者より高評価を得ている。

○評価基準

- A（優）：適正であり、優れた実績をあげている
- B（良）：適正である
- C（可）：概ね適正であるが、一部改善を要する
- D（不可）：改善や更なる取組が必要